

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会長 尾崎 茂樹

盛夏の候となりました。北海道高等学校教育研究会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

北海道高等学校教育研究会(高教研)は、昭和 39 年1月に第1回大会を開催して以来、本年で 62 年目を迎えるに至りました。北海道高等学校長協会のもとに設立された本研究会は、諸先輩方の弛まぬご尽力と、高等学校教育に対する深いご理解と熱意に支えられ、長きにわたり道内教育界において重要な役割を果たしてまいりました。ここに至るまでの歴史を今一度かみしめ、現役世代としてその志を引き継ぎつつ、未来へとつなげていくことの責任を改めて痛感しております。

さて、文部科学省においては、令和9年度末に次期高等学校学習指導要領の告示を予定しており、現在、その改訂に向けた議論が進められております。現代社会は、生成 AI の急速な普及、情報技術の著しい進展、国際社会における不安定な情勢、さらに少子高齢化を背景とする人口構造の変化など、極めて多様かつ複雑な課題に直面しております。これらの状況を鑑み、教育の果たすべき役割もまた、かつてない変革を求められています。

次期学習指導要領においては、知識伝達型の教育から、思考力・判断力・表現力、さらには主体性や協働性といった「資質・能力」の育成を重視した教育への転換が掲げられています。同時に、教師の多忙化への対応、教育格差の是正、多様な背景を持つ学習者への包摂など、教育現場が直面する諸課題に対する実効的な対策も求められております。このような教育改革の潮流の中にあって、広域かつ分散的な学校配置という特性を持つ北海道においては、教職員同士が横の連携を深め、経験と知見を共有し合う機会の重要性が一層増しているものと考えます。

そのような観点からも、本研究会が果たす役割は極めて大きく、各地域における教育実践を全道的な視座で繋ぎ、多角的かつ実践的な議論を深める場として、今後ますますその意義が高まってくると思っております。

本年度の大会におきましては、全体会にて、スポーツドクターであり株式会社エミネクロス代表を務められる辻秀一先生を講師としてお迎えいたします。辻先生は、北海道大学医学部をご卒業後、慶應義塾大学にて内科研修を修められた後、「人が心豊かに生きるとは何か」を主題に据え、クオリティー・オブ・ライフ(QOL)の向上を志として掲げられてこられました。応用スポーツ心理学に基づく独自の理論「辻メソッド」を構築され、スポーツ・教育・芸術・ビジネスといった多様な分野において、人と組織の「ご機嫌な心の状態=Flow」の創出を支援されています。そのご活動は、多くの企業、行政機関、教育機関にも広がっており、現代社会におけるウェルビーイングの実現に寄与されております。

本講演を通じて、教職員自身の精神的充足はもとより、各学校、そして生徒一人ひとりの心の在り方に光を当てる多くの示唆が得られることと存じます。

結びに、北海道高等学校教育研究会が、今後も道内各地の高校教育に携わる教職員をつなぐ貴重な学びと交流の機会として継続的に発展し、次代を担う生徒たちのための教育の一層の充実に寄与してまいりますことを、心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和7年度 総会 報告

令和7年5月7日(水)午後1時30分より、ホテルライフオー札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、令和6年度事業の実施報告・令和7年度事業計画の審議、役員の改選、研究協議などが行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 令和6年度 事業実施報告

- ア 会報 第121号発行 (令和6年7月)
- イ 大会案内発行 (令和6年11月)
- ウ 大会要項発行 (令和7年1月)
- エ 第62回北海道高等学校教育研究大会 報告
 - ① 第1日目 全体集会 (令和7年1月7日(火)) カナモトホール(札幌市民ホール)
 - ② 第2日目 教科別集会 (令和7年1月8日(水)) 各会場
- オ 研究紀要 第62号発行 (令和7年3月)
- カ 会報 第122号発行 (令和7年3月)

(2) 令和7年度 事業計画

ア 第63回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 令和8年1月7日(水)

会 場 札幌市教育文化会館

研 究 主 題 持続可能な社会の創り手を育む北海道高等学校教育の推進

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準 備	受 付	開 会 式	講 演

講 演

演 題 <調整中>

講 師 辻 秀一(つじ しゅういち) 氏 (スポーツドクター)

北海道大学医学部卒業後、慶應義塾大学で内科研修を積む。人の病気を治すことよりも「本当に生きるとは」を考え、人が自分らしく心豊かに生きること、すなわち“人生の質＝クオリティーオブライフ(QOL)”のサポートを志す。その後、スポーツにそのヒントがあると考え、慶大スポーツ医学研究センターを経て、人と社会のQOL向上を目指し株式会社エミネクロスを設立。応用スポーツ心理学をベースに、個人や組織のパフォーマンスを最適・最大化する、自然体な心の状態「Flow」を生みだすための独自理論「辻メソッド」によるメンタルトレーニングを展開。スポーツ・芸術・ビジネス・教育の分野で多方面から支持を得ている。活動の場は多くの企業へ広がり、講演活動や産業医、Chief Health Officer、社外取締役など様々な視点から、企業の健康経営のサポートやフローカンパニー創りにも取り組む。

さらに、スポーツの枠を超え、コンサルタントとしても幅広く活動。行政・大学・地域・企業・プロチームなどと連携し、スポーツの文化的価値「元気・感動・仲間・成長」の創出を目指す。

運 営 大会役員

司 会 者 道南支部

② 教科別集会

期 日 令和8年1月8日(木)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概 要) ※ 部会により時程は多少異なることがあります。

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究協議	昼 食 (休 憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

令和 7 年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研究テーマ
国 語	札幌サンプラザホール	これからの時代に求められる資質・能力を育む国語教育
地歴・公民	北海道札幌厚別高等学校	「社会的な見方・考え方」を育てる ICT を効果的に活用した授業の在り方
数 学	[検討中]札幌エルプラザまたは教育文化会館	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	札幌医学技術福祉歯科専門学校	持続可能な社会形成に寄与する主体性を育成するための理科教育 ～実験実習を核とした探究活動の指導法の研究・実践～
保 健 体 育	道立総合体育センター(きたえーる)	生徒自ら課題発見・解決を目指した保健体育授業 ～豊かなスポーツライフの継続を目指して～
養 護	かでの2・7(北海道立道民活動センター)	現代的な健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌市教育文化会館	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育
英 語	北星学園大学	21 世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 新しい流れに対応する授業をめざして English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	[検討中]札幌エルプラザ(4 階大研修室)	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	エア・ウォーターの森	農業の持続的な発展に寄与する農業教育の推進 ～地域農業・社会に主体的に参画する産業人の育成～
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	札幌市教育文化会館	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	新しい時代をリードする、創造的な水産・海洋教育はどのようにあればよいか
情 報	北海道札幌北高等学校	「個別最適な学び」を支える形成的評価の活用

◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円(全体集会)1,500 円(教科別集会)
高等学校教員は、全体集会のみ、または、教科別集会のみの参加でも、参加料は同じです。
また、当日参加も参加料は同じです。

③ 研 究 紀 要 第63号発行(A4版)

発行予定 令和8年3月

④ 会 報 (高教研ホームページ上に掲載)

ア 第 123号 発行:令和7年 7 月 内容:令和7年度総会報告ほか

イ 第 124号 発行:令和8年 3 月 内容:第 63回研究大会報告及び第 64回研究大会の概要について

令和 8 年度 第 64回北海道高等学校教育研究大会の開催日について

令和 9 年 1 月 6 日(水) 全体集会

令和 9 年 1 月 7 日(木) 教科別集会

研究紀要(第 63 号)執筆者募集要項

執筆を希望される方は、「教科」の区分は各教科部会事務局校へ、「教育一般」の区分は各地区支部事務局校へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしております。なお、執筆者は本研究会の会員に限ります(執筆開始前に会員登録をお願いします)。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 10ページ以内[横書き 横24文字2段組み1,000行以内]

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1編につき 10 ページ以内[横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行以内]

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 執筆申込締切日 8 月 28日(木) 教科部会・地区支部事務局校まで申し込み

執筆者本部決定 9 月11日(木)

原稿本部提出締切 11 月6日(月)

※ 今年度は、研究紀要は各校 1 冊ずつと執筆者分(500部程度)を印刷。また、高教研ホームページ上にPDF化したデータを共有します。

全 体 講 演 の 歩 み
～ 第 32 回大会以降 ～（第58回は感染症対策のため中止）

回	開催年度	講 師 氏 名	演 題
32	平 6	中村雄二郎（明治大学法学部教授） 杉岡 昭子（札幌国際プラザ専務理事）	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄（京都大学名誉教授/日本福祉大学教授） 山中 燐子（北海学園大学人文学部教授）	人間－進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真（国立歴史民俗博物館副館長） 横湯 園子（北海道大学教育学部教授）	大むかしと現代 子どもを観る目－教育臨床心理の立場から－
35	平 9	浅井 信雄（神戸市外国語大学教授） 中野 武房（北海学園北見大学教授）	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一（ノートルダム女子大学学長） シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」－問題行動の背景を探る－
37	平 11	養老 孟司（北里大学教授）	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄（京都大学名誉教授）	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也（共立女子大学学長）	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之（作家）	日本人のころ
41	平 15	毛利 衛（宇宙飛行士/日本科学未来館館長）	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎（三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長）	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治（早稲田大学国際教養学部教授）	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進（河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催）	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝（慶應義塾大学経済学部教授）	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高（作家） 阿刀田慶子（朗読家）	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一（青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授）	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介（東京大学名誉教授）	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹（神戸女学院大学名誉教授）	転換期の教育－グローバリズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎（宇宙航空研究開発機構教授）	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その 7 年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦（柔道家、古賀塾塾長、医学博士）	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介（NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師）	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一（京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会（高等教育開発論講座）兼任）	社会に繋がる学習 －アクティブラーニングとトランジション－
54	平 28	中島 岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎（法政大学キャリアデザイン学部教授）	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 － 新学習指導要領が示唆すること －
56	平 30	新井 紀子 （国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長）	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一 （北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授）	これからの北極域研究－気候変動とSDGsの視点から－
59	令 3	安田 登 （能楽師（ワキ方、下掛宝生流）米国Rolf Institute 公認ロルフアー （米国のボディワーク、ロルフイングの専門家） 関西大学特任教授 ）	未来へつながるリベラルアーツ －Society 5.0 時代の古典の価値
60	令 4	長谷山美紀 （北海道大学副学長（IR、数理データサイエンス） 大学院情報科学研究 院院長 創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点長）	データサイエンス・AI教育 ～これからの北海道を考える～
61	令 5	伊藤 亜紗（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人 類研究センター長リベラルアーツ研究教育院教授） 山本 貴光（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人 類研究センターリベラルアーツ研究教育院教授） 多久和 理実（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の 人類研究センターリベラルアーツ研究教育院講師）	ポストコロナでよく生きるために ～「利他」から見えてくる景色とこれからの 高等学校教育～ （鼎談型講演）
62	令 6	小林傳司（大阪大学名誉教授）	データは大切、そしてデータを疑うことはもっと大切 ：総合知の視点から考える

令和7年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役 員〕

会 長	尾崎 茂樹	(札 幌 旭 丘)			
副 会 長	川村 広幸	(札 幌 琴 似 工 業)			
	西岡 憲廣	(札 幌 山 の 手)			
	高橋 昌宏	(札 幌 東)			
	杉本 式史	(札 幌 新 川)			
監 事	三関 直樹	(札 幌 清 田)			
	對馬 康次	(札 幌 東 商 業)			
顧 問	綾井 健二	武田 泰明	田村 勸	島 隆	
	青塚 健一	金間 正克	宮浦 俊明	守屋 開	
	佐々木高至	石黒 清裕	林 恵子	相沢 克明	

〔地区支部長〕

〔 石 狩 〕	三村 素道	(札 幌 月 寒)
〔 道 南 〕	佐紺 摂子	(市 立 函 館)
〔 後 志 〕	本谷 一	(ニ セ コ)
〔 空 知 〕	渡辺 淳一	(岩 見 沢 東)
〔 道 北 〕	高倉 友恵	(旭 川 永 嶺)
〔 オ ホ ー ツ ク 〕	今野 博友	(湧 別)
〔 釧 根 〕	山本 十三	(厚 岸 翔 洋)
〔 十 勝 〕	増田 康広	(清 水)
〔 日 胆 〕	西本 健治	(え り も)

〔教科部会長〕

〔 国 語 〕	渡辺 淳一	(岩 見 沢 東)
〔 地 歴 ・ 公 民 〕	高橋 一矢	(札 幌 厚 別)
〔 数 学 〕	能登 啓児	(札 幌 丘 珠)
〔 理 科 〕	三浦 治彦	(石 狩 南)
〔 保 健 体 育 〕	俵 英生	(恵 庭 南)
〔 養 護 〕	三村 素道	(札 幌 月 寒)
〔 芸 術 〕	古谷 尚	(札 幌 手 稲)
〔 英 語 〕	木幡かおる	(千 歳)
〔 家 庭 〕	佐紺 摂子	(市 立 函 館)
〔 農 業 〕	菊地 誠	(真 狩)
〔 工 業 〕	川村 広幸	(札 幌 琴 似 工 業)
〔 商 業 〕	梅澤 謙	(札 幌 啓 北 商 業)
〔 水 産 〕	亀山 喜明	(小 樽 水 産)
〔 情 報 〕	古屋 順一	(羅 臼)

〔事務局〕

事 務 局 長	小泉 泰之	(札 幌 旭 丘)		
事 務 局 次 長	網島 格	(札 幌 旭 丘)	森 知之	(札 幌 旭 丘)
	関井 絵里	(札 幌 旭 丘)	松林 憲人	(札 幌 旭 丘)
	中川 里沙	(札 幌 旭 丘)		
事 務 職 員	密山 潤子			

【地区支部事務局】

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石 狩	札幌月寒	石田 毅	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
道 南	市立函館	渡部 慶一	040-0002	函館市柳町11番5号	0138-52-0099	0138-52-9933
後 志	ニセコ	高井 央	048-1501	虻田郡ニセコ町字富士見141番地9	0136-44-2224	0136-43-2031
空 知	岩見沢東	小野寺典祥	068-0818	岩見沢市並木町30番地	0126-22-0071	0126-22-0071
道 北	旭川永嶺	大城 雅則	078-8508	旭川市永山町3丁目102番地	0166-47-6006	0166-47-6109
オ ホ ー ツ ク	湧別	相澤 英樹	099-6328	紋別郡湧別町中湧別南町846-2	01586-2-2419	01586-4-2074
釧 根	厚岸翔洋	小坂 実頭	088-1114	厚岸郡厚岸町湾月町1丁目20番1	0153-52-3196	0153-52-3196
十 勝	清水	仁藤 隆	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	0156-62-2156	0156-62-2097
日 胆	えりも	渡辺 敬	058-0203	幌泉郡えりも町字新浜208番地2	01466-2-2405	01466-2-4280
		※教頭が担当				

【教科部会事務局】

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	石狩翔陽	仲尾 光康	061-3248	石狩市花川東128番地31	0133-74-5771	0133-74-8741
地歴・公民	札幌厚別	砂金 珠恵	004-0069	札幌市厚別区厚別町山本750-15	011-892-7661	011-892-7799
数学	札幌丘珠	後藤 篤	007-0881	札幌市東区北丘珠1条2丁目589番地1	011-782-2911	011-782-8370
理科	札幌西陵	庭山 淑人	063-0023	札幌市西区平和3条4丁目2-1	011-663-7121	011-663-7122
保健体育	恵庭南	高野 智史	061-1412	恵庭市白樺町4丁目1-1	0123-32-2391	0123-32-5500
養護	札幌月寒	岡 香	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目1-1	011-851-3111	011-851-3112
芸術	札幌手稲	中川 史子	006-0829	札幌市手稲区手稲前田497番地2	011-683-3311	011-683-8606
英語	千歳	加瀬谷嘉延	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	石狩翔陽	北村 仁美	061-3248	石狩市花川東128番地31	0133-74-5772	0133-74-8741
農業	真狩	中村 地平	048-1611	虻田郡真狩村字光6	0136-45-2357	0136-45-3514
工業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	勝田 敏正	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	岩岬 耕平	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌北	前田健太朗	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
[部会長校]		国語(岩見沢東) 理科(石狩南) 家庭(市立函館) 情報(羅臼)				

北海道高等学校教育研究会
◎2025年度 会員参加者数一覧

(令和7年7月16日 現在)																
	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	86	120	102	116	94	24	41	115	36	5	17	35	1	28	820	802
道南	10	8	8	10	4	3	5	21	7	5	5	5	37	5	133	144
後志	10	11	11	9	10	3	4	6	2	24	2	4	28	3	127	104
空知	4	6	4	7	6	4	4	12	8	15	3	7	0	0	80	80
道北	25	33	22	24	12	4	8	21	7	17	6	18	0	6	203	216
オホーツク	9	17	9	10	11	2	3	13	2	3	4	14	0	4	101	109
釧根	10	16	16	15	7	0	7	12	4	12	8	11	11	2	131	119
十勝	7	4	11	8	6	1	4	9	1	17	4	2	0	5	79	80
日胆	4	8	5	11	6	2	6	7	5	7	2	6	0	1	70	147
合計	165	223	188	210	156	43	82	216	72	105	51	102	77	54	今年度	1,744
昨年度	167	228	177	217	160	48	88	238	70	93	71	106	81	57		1,801

◎会員数の推移

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
会員数	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,787	1,759	1,790

<事務局から>

会員の皆様には、いつも大変お世話になっております。高教研の昨年度の登録者数がおかげさまをもちまして前年度から増加をいたしましたのは、ひとえに会員のみなさまのご協力によるものと存じ、この場を借りてお礼を申し上げます。

昨今の社会情勢や学校を取り巻く環境の所為ばかりではないとは思いますが、学校や教員数の減少に加えて働き方改革の影響など、本会への参加が難しい状況があるのは、哀しい時勢かと理解しております。ただ本部から各支部、各教科部会へお願いしたのは、「各校1人の会員を増やしてください」というお願いでした。今年度全道の高等学校・中等教育学校の数 は 274 校あります(R7.4.1 現在、北海道教育委員会の統計)。仮に、各校1人増が実現すれば 274人の増が見込め、それだけでも会の運営が充実します。また、今年度の全体会は、令和8年1月7日(水)という日程で、少し参加しやすいと思います。改築された教育文化会館でご参加の皆様にお会いできることを楽しみにしています。

発行 令和7年7月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535
札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
市立札幌旭丘高等学校内
TEL 011-513-2238
FAX 011-513-2244
Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp